

## 新たな将来像を実現するための取組みの方向イメージ

新たな丹波地域ビジョンを策定するにあたり、各団体へのヒアリング調査や、県民との「ビジョンを語る会」、丹波地域の若者による「丹波地域未来デザイン会議」を実施しています。現時点において、そこで寄せられた意見を整理すると、目指すべき将来像と取組みの方向のイメージは次のようになります。

### ●現時点での意見整理

将来像 ＜分野＞	将来像の実現に向けた 取組みの方向 (核となるキーワード)	不足すると考えられる内容 ※現行の地域ビジョン及び 将来構想試案未来シナリオを参考
丹波の柱その1 (仮称) ＜自立＞	①教育、学び ②情報社会、テクノロジー ③地域コミュニティ ④まちづくり	・住民参加 ・地域団体 ・世界
丹波の柱その2 (仮称) ＜次代＞	①子育て ②循環型社会 ③継承 ④限界集落 ⑤ライフスタイル	・最期 ・未知の領域 ・使い続ける
丹波の柱その3 (仮称) ＜交流＞	①移住 ②空き家問題 ③自然、環境	・都市との共生
丹波の柱その4 (仮称) ＜元気＞	①農業 ②林業 ③商業、労働、 観光・ツーリズム、 第6次産業	・商店街・ものづくり産業 ・起業 ・稼ぐ地域コミュニティ ・しごと ・芸術文化
丹波の柱その5 (仮称) ＜絆＞	①高齢化、高齢者 ②多世代、家族 ③つながり ④地域づくり	・高齢者の活躍
丹波の柱その6 (仮称) ＜安全安心＞	①災害、防災 ②安全な食 ③ユニバーサル ④男女共同参画	・障がいのある人 ・医療、健康 ・犯罪 ・スポーツ